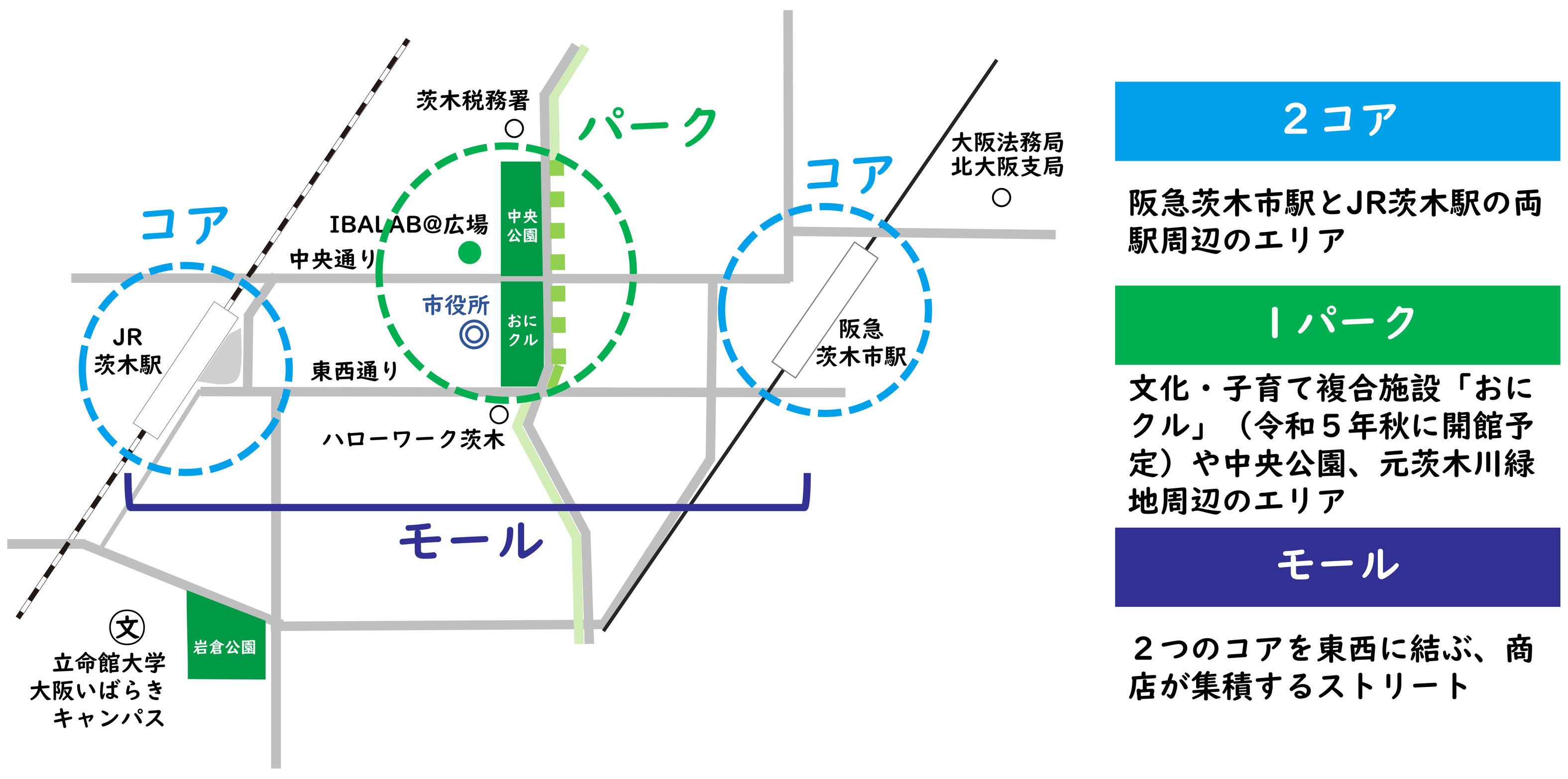
「人が中心の歩いて楽しいまちづくり」をめざして

市の中心市街地は広域交通のアクセス点である阪急茨木市駅と、JR茨木駅が東西に位置し、その中間地点には市役所、文化・子育て複合施設「おにクル」（令和5年秋に開館予定）や中央公園があり、そこから南北へのびる元茨木川緑地には、豊かな自然と文化が醸成されています。市ではこれらの立地特性を活かし、右図に示す**「2コア1パーク&モール」**の都市構造による「人が中心の歩いて楽しいまちづくり」に向けて、さまざまな事業や取組みを推進しています。



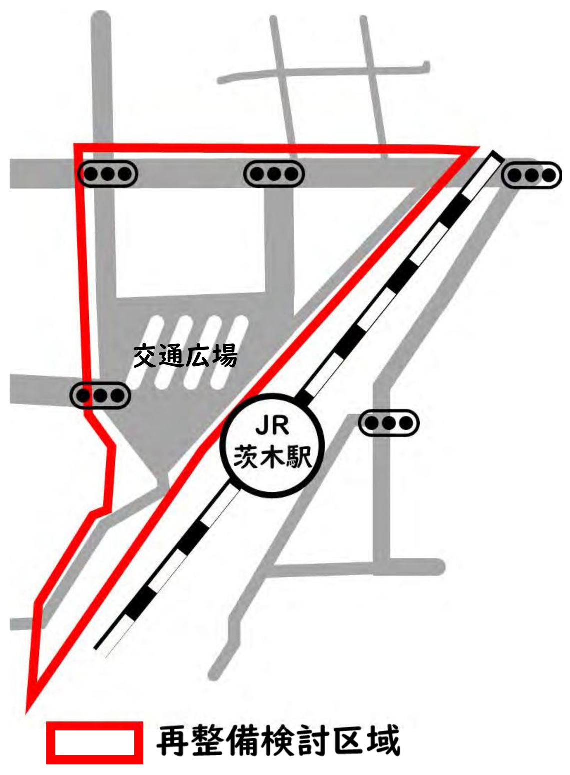
JR茨木駅西口駅前周辺整備事業について

「コア」の一つであるＪＲ茨木駅西口駅前周辺は、昭和45年（1970年）開催の万国博覧会（大阪万博）に併せて駅前広場等の都市基盤が整備され、約50年が経過しています。近年は、駅前機能の老朽化等による魅力や賑わいの低下とともに、社会動向や災害等による安全安心に対する意識の変化等により、新たな状況への対応が求められているため、本市では、JR茨木駅西口駅前周辺の再整備に向けた検討を進めています。

01 再整備の検討区域について

本事業では、右図の赤枠の範囲で再整備に向けた検討を進めています。検討区域面積は、**約2.5ha**で、駅前のバスロータリー、市営駐輪場、駅前ビル、密集市街地から構成されており、**約250名の関係権利者**がおられます。

平成29年には、区域内の権利者（任意）で構成される、JR茨木駅西口駅前周辺地区まちづくり協議会が設立され、当地区のまちづくりについて、検討が進められています。

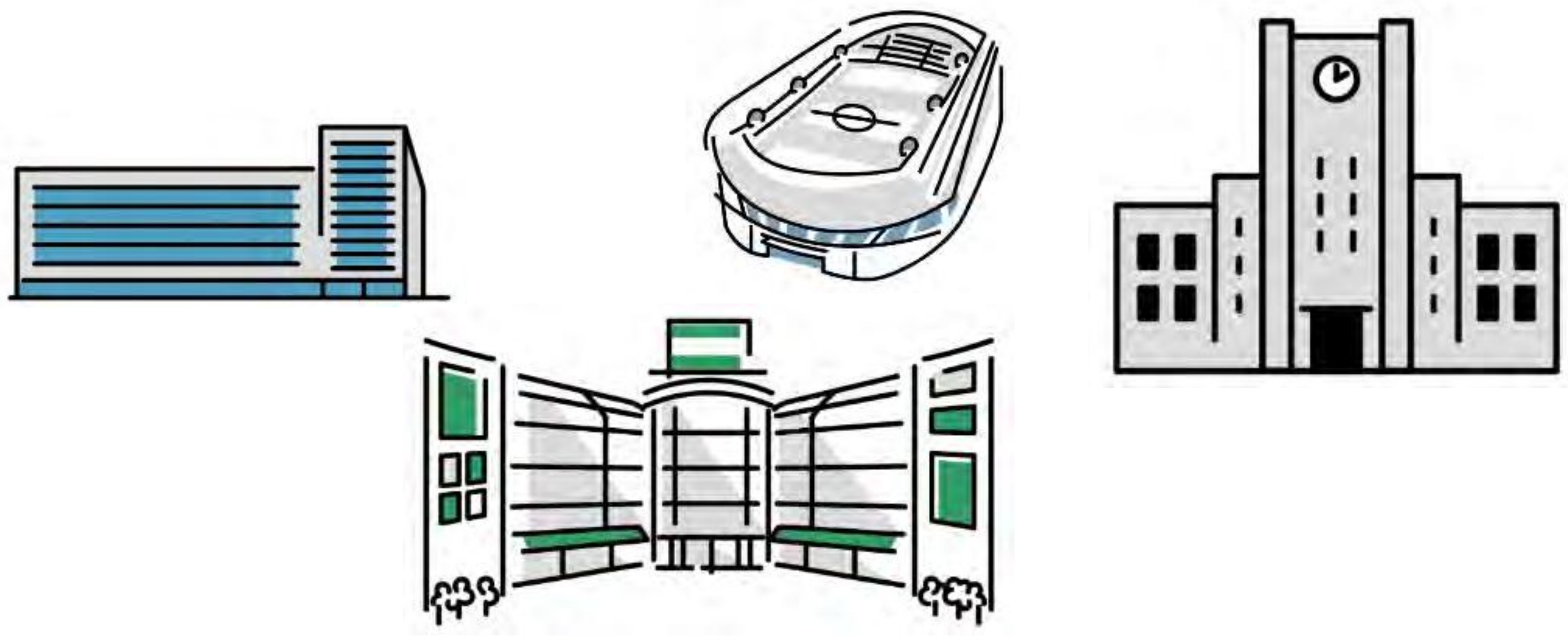


02 地区の課題

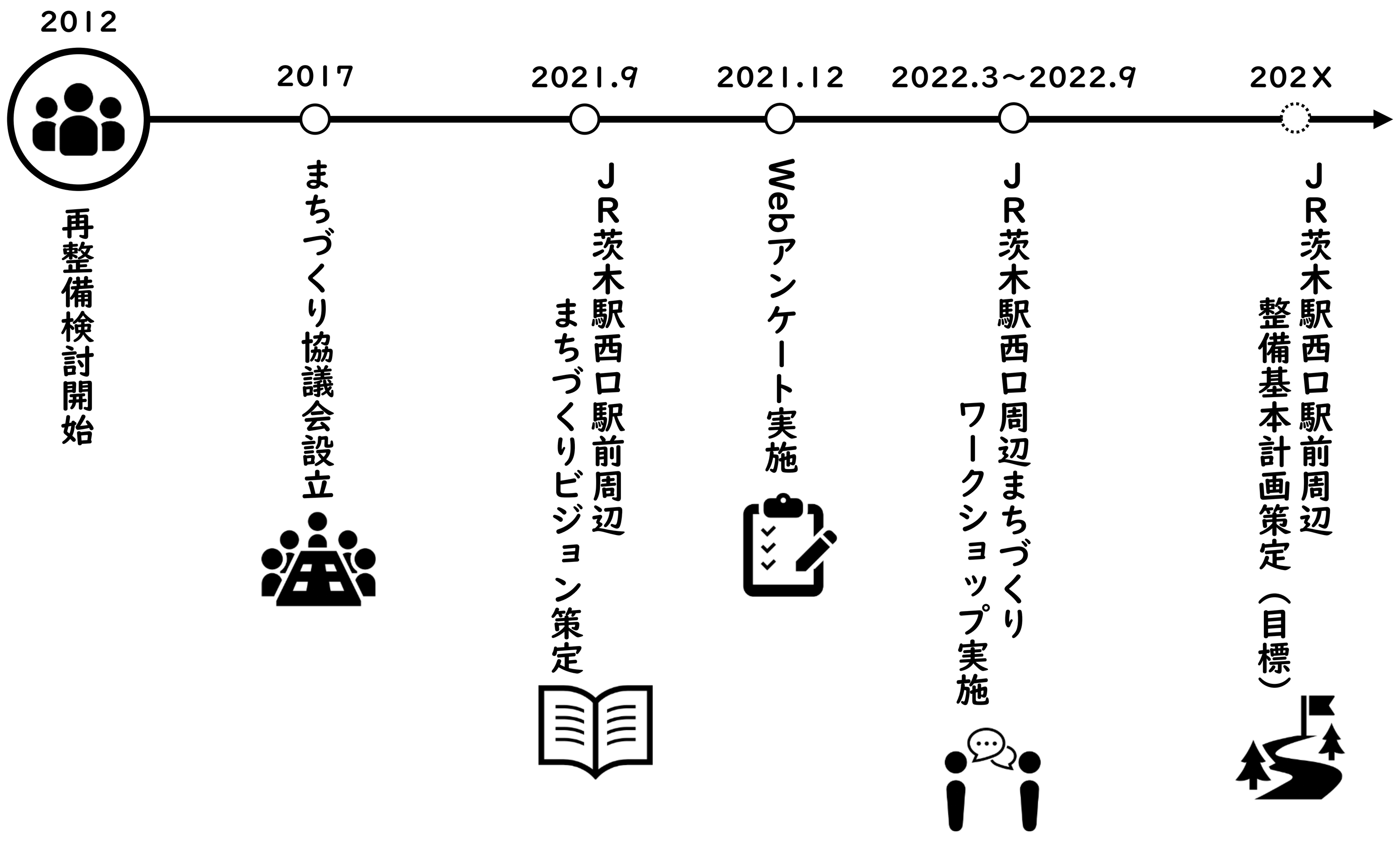
- 駅前広場内への**通過交通の流入**、交通渋滞
- バス利用に係る**バリアフリー未対応**
- 駅周辺の**駐輪場定期利用の待機者、送迎バスターミナルの不足**
- 周辺拠点との**回遊性の不足**
- **憩いや賑わいの場の不足**
- 駅前の**老朽化や耐震性能の不足**した建物、狭小道路に面した建物の密集による防災性の不足

03 地区の特性

- 大都市へのアクセスが良好で**交通利便性が高い**
- **大規模商業施設や大学が立地**
- 市内外の人の往来があり、**まちの玄関口**となっている
- 立命館大学大阪いばらきキャンパスへの学部移転等によるさらなる**駅利用者増加の可能性**



04 これまでの検討経過



再整備を進めていく上で、JR茨木駅西口駅前周辺をどのようなまちにしたいのか、まちづくりの方向性やまちの将来像を示しました！！

NEXT

JR茨木駅西口駅前周辺まちづくりビジョン

駅前の再整備を進めるにあたり、地区の特性や課題、上位計画や関連計画、社会動向を踏まえ、**まちづくりの４つの方向性とまちの将来像**を掲げました。

詳しくはコチラ

①まちづくりの方向性

01 更なる交通環境の向上
- 人中心の再整備
- バリアフリー化の向上
- 新快速停車の実現

02 多様な都市機能の集積
- 通勤通学者の利便性向上
- 市民ニーズに応える機能の集積
- 駅とまちをつなぐ機能の配置

03 持続性のある魅力、賑わいの創出
- 玄関口にふさわしい景観
- 官民が連携した取組みの展開

04 安全安心な駅前に向けた防災性の向上
- 狭小道路の改善
- 災害時における空間の確保

②まちの将来像

だれもが、いつでも、
どこへでも、つながることができる、
暮らしの質を高める対流型駅まち空間

この地区をどの様なまちにしたいのかという方向性を示しました。

Webアンケート

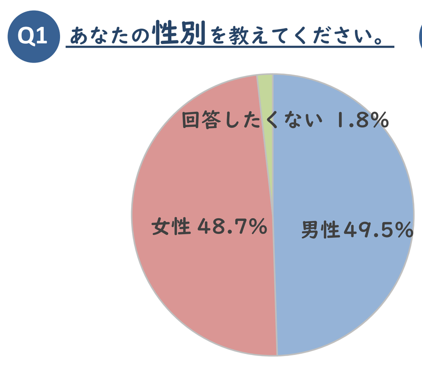
まちの将来像の実現に向けた検討を進めるにあたり、JR茨木駅周辺に求められる役割を整理する必要がありました。そのため、市民や駅利用者の皆さんの**関心の高い分野やニーズの傾向**をつかむために昨年の12月にWEBアンケートを実施いたしました。

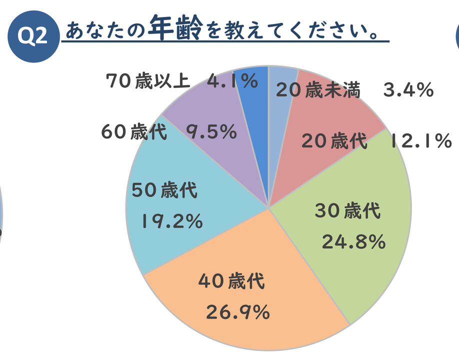
詳しくはコチラ

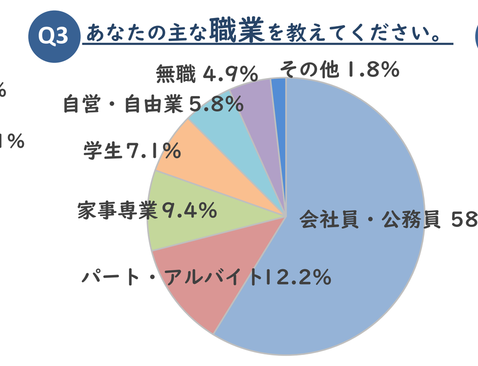
01 Webアンケートの概要

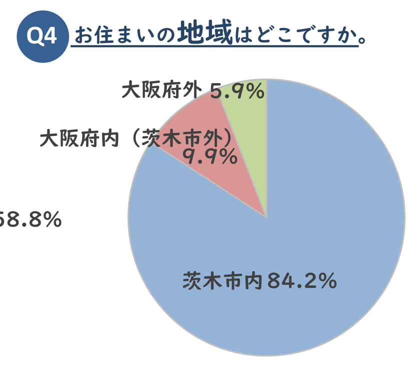
（調査対象）：市民・ＪＲ茨木駅周辺利用者
（調査期間）：令和3年12月1日～12月28日
（調査項目）：回答者属性、利用内容、満足度、自由記述、まちづくり等の計16項目
（回答者数）：735人

02 アンケートの結果（回答者の属性）









03 アンケートの結果（回答者の属性）

Q14 何があればもっとＪＲ茨木駅西口周辺を利用したい・活動したいと思いますか？（５つまで）

主な回答

1 カフェやレストランなどの飲食店舗　549人/735人
02 日用品や生活雑貨を購入できる商業施設　398人/735人
03 緑のある広場等の憩えるオープンスペース　276人/735人

Q15 より魅力的で住んでみたい・住み続けたいまちになるため、ＪＲ茨木駅西口周辺はどのようなまちを目指す必要があると思いますか？（５つまで）

主な回答

1 駅周辺で生活利便施設が揃うまち　394人/735人
02 駅を中心に周辺地域との回遊性がある歩きたくなるまち　389人/735人
03 鉄道やバスなどの公共交通を利用しやすいまち　327人/735人

04 アンケートの結果（自由記述）

305人の方から自由記述による多様なご意見をいただきました。

交通環境
- 駅周辺は、**歩行者ファースト**にしてほしい。
- **通過交通を削減**させて欲しい。特に会社の送迎バスによる渋滞が目立っているように感じる。
- 移動手段は充実しているように思いますが、**待ち時間を過ごせる場所**がありません。

都市機能
- 不便なのでとにかく**生活利便性の高い店舗**を増やしてもらいたい。
- **ちょっと食事できる店**が無いのが困る。
- **人と待ち合わせが出来る**ようなちょっとお茶を飲むところが無い。

魅力賑わい
- タワーマンションよりも、**低層の商業施設やマンションのほうが価値的によい**と思います。
- もっと土地の**高度利用をすべき**である。それによって生まれる人出、オープンスペース、限られた土地をもっと有効利用してほしい。
- できれば**緑豊かで開放感がある空間**にしていただけると嬉しいです。

安全安心
- 人がくつろげる、憩いの場所や広場兼**防災広場的なもの**があると利用したい。

まちづくり
- 茨木は大阪と京都の中間であり、しかもエキスポ・アリーナ・山も近いという立地を活かせば従来型の**観光＋街遊び＋スポーツ・ライブ観覧＋山遊び**、さらには阪大や健都とからめた**医療ツーリズム**も誘致できる可能性がある。
- 西口周辺に住んでいるので、開発を楽しみにしています。大きな変化はなくとも、**しみじみと「よかったね」と思える場所**になってほしいです。

Webアンケートで多様なニーズが確認され、より詳しく市民の皆さんの想いを把握するためにまちづくりワークショップを開催しました！！

NEXT

JR茨木駅西口周辺まちづくりワークショップ

01 ワークショップ開催目的

まちづくりの４つの方向性とまちの将来像を踏まえ、皆さんの暮らしをより良くするために将来、JR茨木駅西口周辺がどうなれば良いか、駅前でどのように過ごしたいかなど、参加者の皆さんと一緒に考えるワークショップを開催しました。

まちづくりの方向性

01 更なる交通環境の向上
- 人中心の再整備
- バリアフリー化の向上
- 新快速停車の実現

02 多様な都市機能の集積
- 通勤通学者の利便性向上
- 市民ニーズに応える機能の集積
- 駅とまちをつなぐ機能の配置

03 持続性のある魅力、賑わいの創出
- 玄関口にふさわしい景観
- 官民が連携した取組みの展開

04 安全安心な駅前に向けた防災性の向上
- 狭小道路の改善
- 災害時における空間の確保

まちの将来像

だれもが、いつでも、
どこへでも、つながることができる、
暮らしの質を高める対流型駅まち空間

【目的】参加者の皆さんと暮らしの質を高めるまちづくりについて考える

02 ワークショップ各回の概要

ワークショップは令和4年3月12日から9月4日まで計6回開催し、参加者の延べ人数は197人と多くの市民の皆さんに参加いただきました。

回	内容	開催日	参加者
第1回	キックオフミーティング	3月12日開催	参加者39人
第2回	まち歩き	4月23日開催	参加者40人
第3回	アイデア出し やってみたい事	5月21日開催	参加者29人
第4回	アイデア出し 使いたい場所	6月18日開催	参加者33人
第5回	実現に向けたアイデア整理	7月23日開催	参加者32人
第6回	イメージのまとめ	9月4日開催	参加者24人

03 ワークショップの開催風景

第1回 キックオフ

ワークショップのアドバイザーの近畿大学久教授、ファシリテーターの立命館大学阿部准教授より、ワークショップ開催にむけて、お話をいただきました。

参加者の皆さんには、再整備後に
どういう使い方や暮らし方をしたいのか
という「想い」を教えていただきたい。

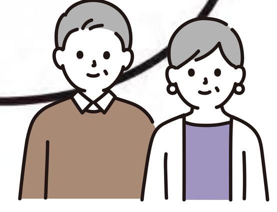
駅を利用している皆さんが、
どのような生活・居場所にしたいのか
を考えることが重要。

第2回 まち歩き

JR茨木駅周辺のまち歩きを行いました。皆さんが気になる場所やお気に入りの場所、**駅と周辺とのつながり**など、現状を確認しました。

まち歩きで皆さんからいただいたご意見

- バスロータリーは、緑も少なく、待っているだけで、憩う場がなく寂しく感じました。
- 駅ビルは、すごい存在感があるけれども、活気がなく使い方に工夫が欲しいです。
- まち歩きで魅力的なお店が駅周辺に点在していることに気づけました。

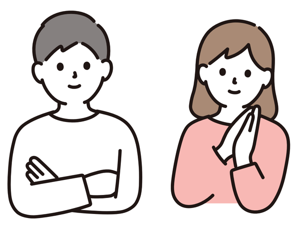


第3回 アイデア出し（やってみたいこと）

JR茨木駅周辺で**「今していること」**や**「これからやってみたいこと」**について、JR茨木駅周辺の地図に旗を刺しながら、アイデアを出し合いました。

旗刺しアイデア出ししていただいた皆さんの「やってみたいこと」のご意見

- アート作品を楽しみたい
- 待ち合わせの時間を充実させたい
- 緑に触れたり自然を楽しみたい
- 素敵なお店で買い物がしたい
- 待ち合わせの時間を充実させたい
- 安全に自転車で通りたい
- シェアキッチンの運営をしてみたい
- 素敵なお店でランチがしたい
- 季節のイベントに参加したい



第４回ワークショップでは皆さんのやってみたいことを模型で表現しました！！ NEXT

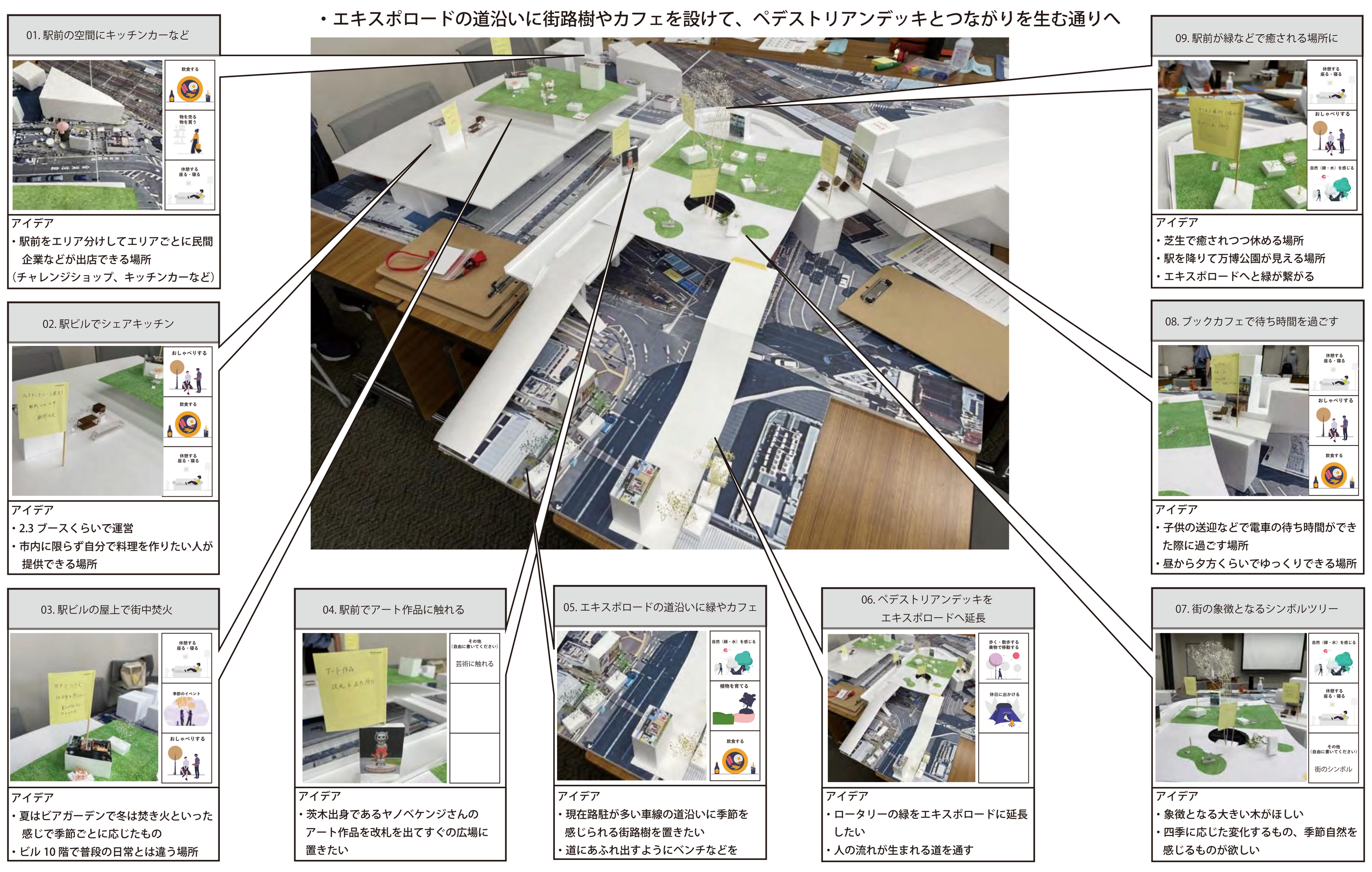
第４回 アイデア出し（使ってみたい場所）

第３回のアイデアを踏まえ、駅前でやってみたいことを班のメンバーと話し合いながら模型で表現しました。

１班　タイトル：風景的な広がりに誇り・癒し・学びのある街

① 全体エリア

・駅ビルにシェアキッチンで料理を提供できる場所、ビル 10 階で冬は焚火、夏はビアガーデン
・ロータリーにヤノベケンジさんのアート、ブックカフェ、緑で癒される場所、シンボルツリーで象徴的な場所に
・エキスポロードの道沿いに街路樹やカフェを設けて、ペデストリアンデッキとつながりを生む通りへ



２班　タイトル：人との交流が見えて、立ち止まりたくなる駅前

① ロータリーエリア

・人々がどのようなアクティビティをしているのか透けて見える
・年齢層問わず市外市内問わず、来た人が気軽に使える場所

３班　タイトル：寄り道のできる多様性のある公園のような駅

① 駅・ロータリーエリア

・本の受け渡しができる図書館サービスが駅前にほしい
・大学生や障がい者の方も読書や飲食で利用できる空間がほしい
・緑を感じられる公園のような駅にしたい

４班　タイトル：茨木 Gate City∞つながる・ひろがる

① ロータリー・駅構内エリア

・使用されていないロータリーにキッチンカーを出店し、軽食を食べることができる場所として活用する。
・茨木を象徴するシンボルツリーや茨木 GateCity など、人々が集まるランドマークとなる駅前に。
・エキスポロードは街路樹やカフェを設けてロータリー、商店街と一連で賑わいとつながりを生む通りへ。

模型で表現することで、**場所の使い方のイメージを膨らませる**ことができたり、やってみたいことを他の参加者と**共有しやすく**なりました。また、やってみたいことの規模感についても考えました。

第５回ワークショップではやってみたいことが重なる駅前のシーンについて整理しました！！

NEXT

第5回 実現に向けたアイデア整理

第4回の模型で表現した、駅前でやってみたいことを時間帯や場所ごとに整理しました。

皆さんからいただいた多くのアイデア

平日・朝

仕事前にブックカフェに立ち寄り新聞を読みたい

緑やアートを感じながら通勤したい

マルシェで新鮮な野菜を買いたい

朝活をして自分の学びの時間にしたい

仕事に行きやすいよう子どもを預ける場所があるなど、利便性のよい駅前にしたい

ウォーキングついでにモーニングをして、すがすがしい朝を迎えたい

平日・昼

友人とカフェでくつろぎたい

親子で参加できるワークショップを企画したい

仕事の合間に飲食・散歩など、リフレッシュがしたい

パンをイートインまたはテイクアウトしたい

シェアキッチンで製造したものを販売したい

友人とランチしたい

商店街へ行くまでにベンチで休憩し商店街で買い物をして帰りたい

キッチンカーで昼食を買って休憩しながらランチをしたり、隙間時間にコワーキングスペースで仕事をしたい

ベンチに座って会話を楽しみたい

若者・高齢者などが集まって会話をするスペースがあればいい

平日・夜

雰囲気の良い場所で自然を感じて食事をしたい

仕事帰りに立ち飲みに立ち寄りたい

ライトアップされたモニュメントを見て１日の疲れをリセットしたい

子どものお迎えの帰りに立ち寄り、緑を感じながら子どもと一緒に休憩したい

エキスポロードから綺麗に見える夕焼けを感じ、友人や家族と会話を楽しみたい

時々マルシェを楽しみたい

休日

友人や家族と茨木ならではのモニュメントや屋外ライブを楽しみたい

キッチンカーなど、カフェや広場で友人や家族と食事を楽しみたい

イベントを実施して、市役所・JR茨木駅・阪急茨木市駅など、まちを回遊できるようにしたい

長時間の滞在場所ではなく、短時間の憩いや休憩の場として利用したい

第6回 イメージのまとめ

最終回では、お一人ずつ、駅前でやってみたい事を発表していただきました。発表の中ではそれぞれのやってみたいことの実現に向けて、ご自身がどう関わりたいか、どう関わっていけるかということも考え、発表していただきました。

ワークショップに参加してみての感想

今後、JR茨木駅の再整備に対して関われる機会があるのであれば、ワークショップ参加者に対してメールで案内を送っていただけると嬉しいです。

初回から参加されている方々の熱意を感じ、より良いまちづくりにつながると思いました。

毎回２時間があっという間でした。大学の先生のお話を伺えたり、学生さんたちとのワークショップも楽しかったです。

皆さんのアイデアを重ね合わせたイメージ図がこちら！！ NEXT

04 参加者の皆さんのアイデアを重ね合わせて作成した駅前のイメージ図

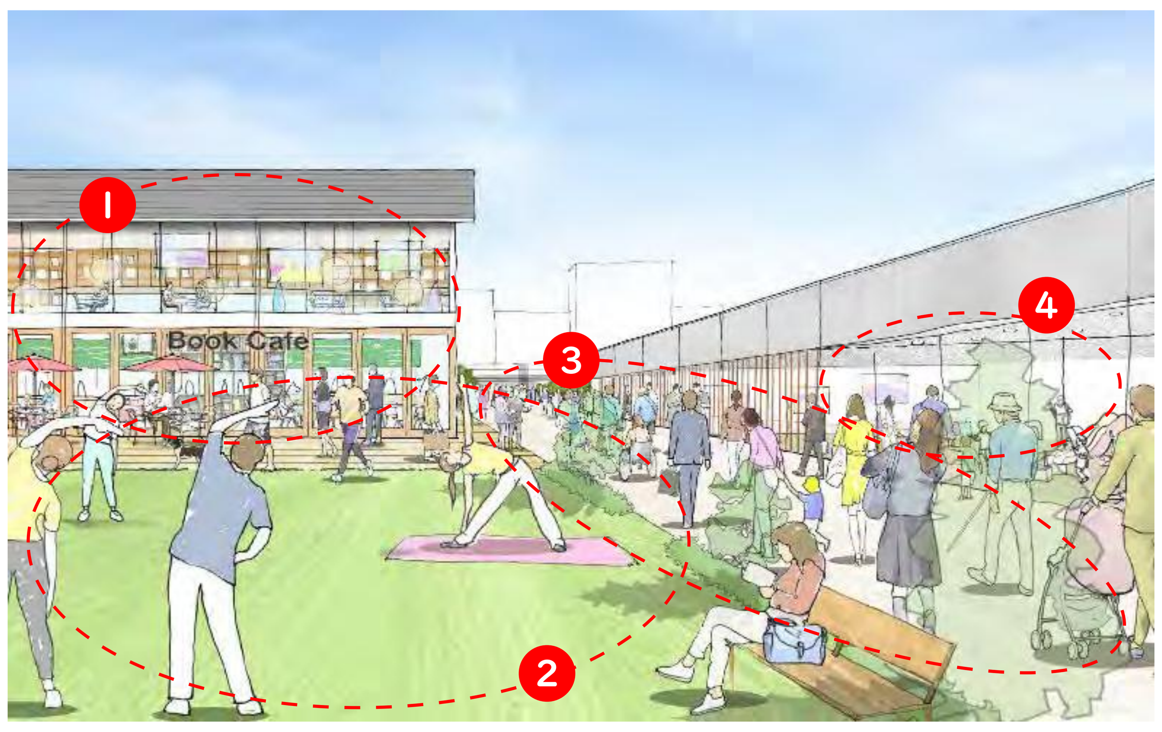
　第５回までのアイデアを整理すると、共通する５つのキーワードが確認されました。このキーワードと参加者の皆さん一人一人の想いを重ね合わせて、６つの駅前のイメージ図を作成しました。

豊かな暮らし　つながり（ひと、地域）　交流　文化的　みどり豊か

①　いつもの朝と豊かな日常（平日・朝）

いつもの朝の慌ただしい通勤・通学。そんな日常からは少し離れて、駅を利用する多種多様な人が家と職場・学校との切り替わりに、朝活でゆっくりと読書をしたり、ヨガを楽しんだり、自分を豊かにする時間、過ごし方。

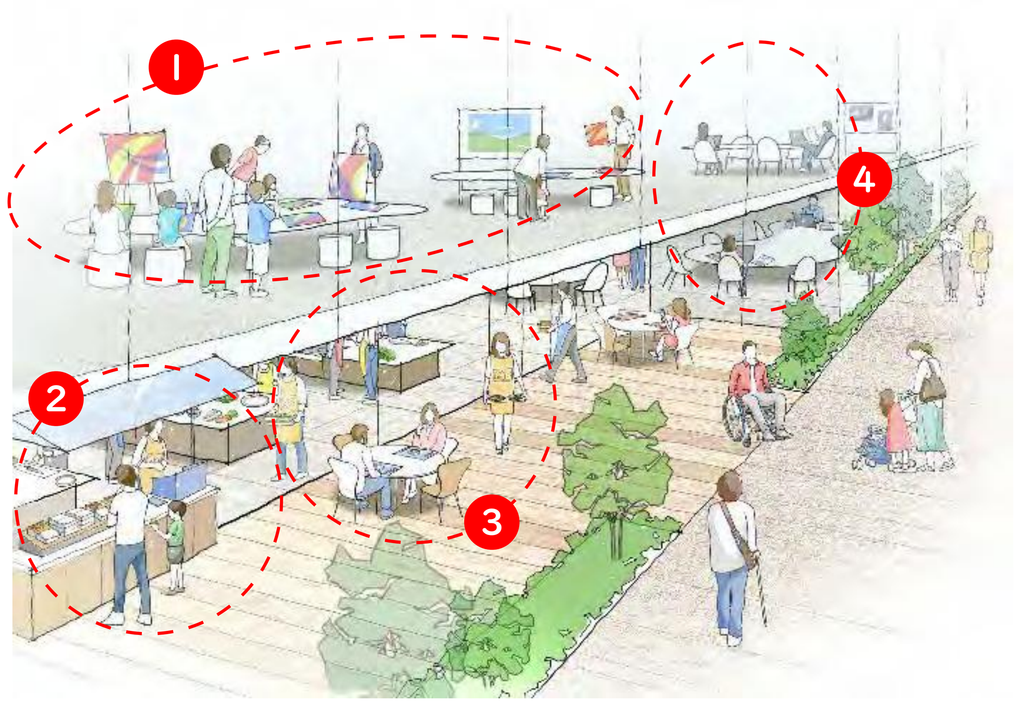
1. 通勤通学時に少し早めに駅に来て、本や雑誌を読みながらコーヒーを飲んでゆっくりしたり仕事前に新聞を読みたい
2. みんなでラジオ体操朝活でヨガをしたい
3. 快適に通勤・通学したい
4. 子どもを保育園に預けて仕事に行ける



②　普段の暮らしに加わるプチ贅沢なひととき（平日・昼）

親子、友人、老夫婦、同僚といった近しい間柄の人が便利な駅前で時々集まり、シェアキッチンを使っておいしいランチと会話を楽しんだり、趣味のワークショップに参加したり、コワーキングスペースで仕事をしたり、普段の生活とは違う、ちょっと贅沢な時間を過ごす。

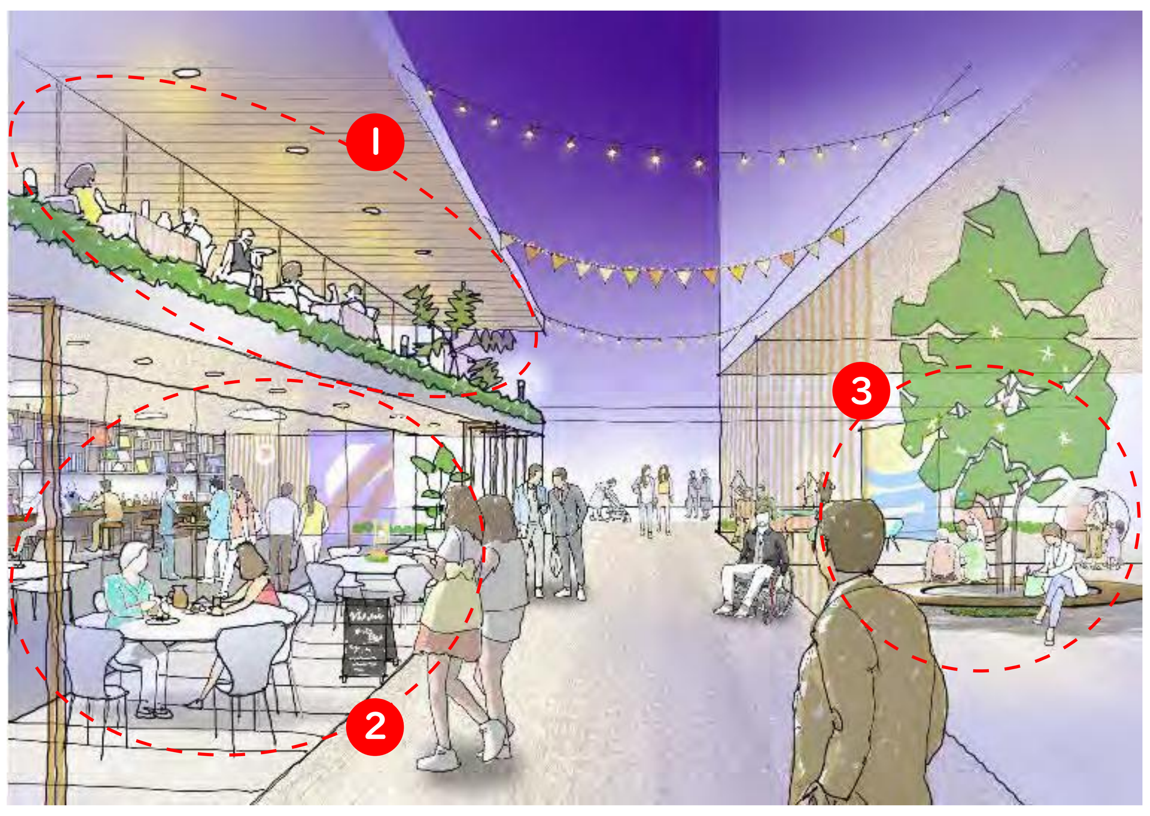
1. ワークショップに参加したい！親子で参加できるアート系
2. シェアキッチンで製造したものを販売する
3. 一緒に料理で手を動かして作った後の食事を楽しむ
4. 隙間時間を有効活用する



③　暮らしを豊かにする潤い・出会い（平日・夜）

仲間、同僚が集い食事と会話を楽しみながら交流をしたり、仕事帰りにふらっとお気に入りのお店に立ち寄ったり、子どものお迎えの合間にゆっくりとしたり、一日の終わりに彩りや潤いが感じられる良い雰囲気の時間。

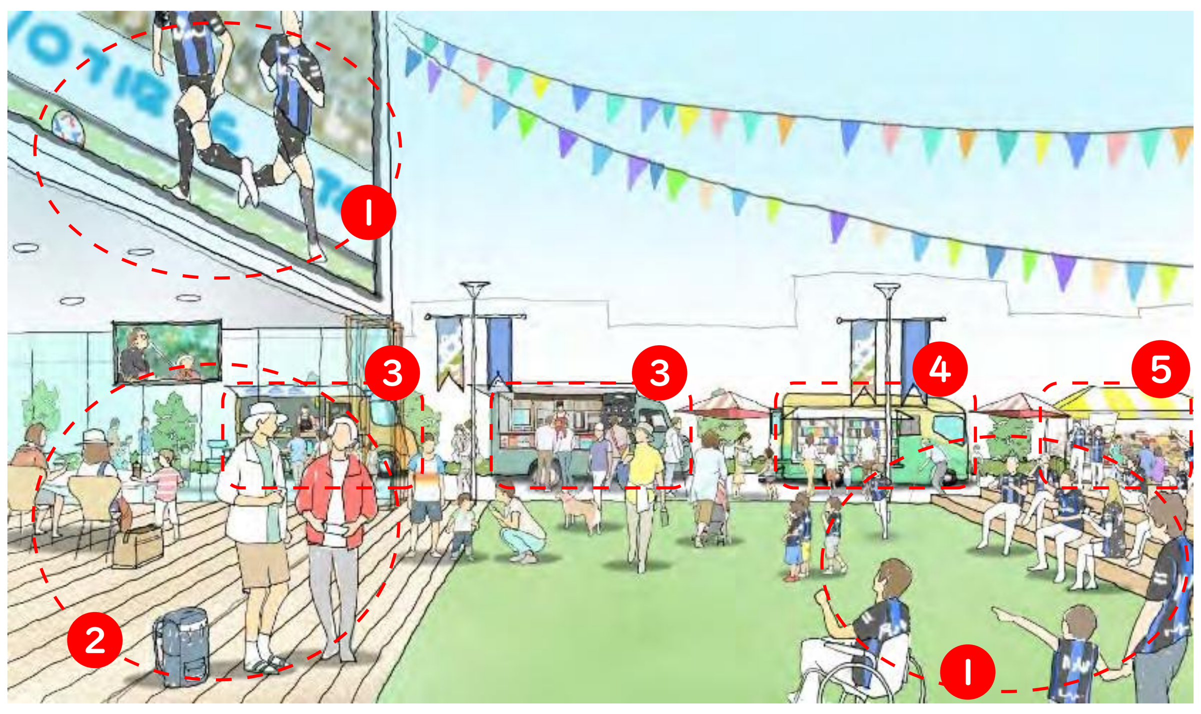
1. 友人、家族で少し高級なディナーを楽しむ
2. 帰り道にひとりでちょっと寄り道、仕事帰りに飲みにいきたい忘年会・新年会
3. 帰宅前にゆっくりする



④　いつもとちょっと違う非日常（休日）

万博記念公園等でのイベントと連携したサテライトイベントや、キッチンカーやマルシェが駅前でも実施されて賑わったり、イベント帰りの人たちが少し休憩しながら家族、友人と会話をしたり、平日に利用する駅前とはちょっと違う、非日常な時を過ごす。

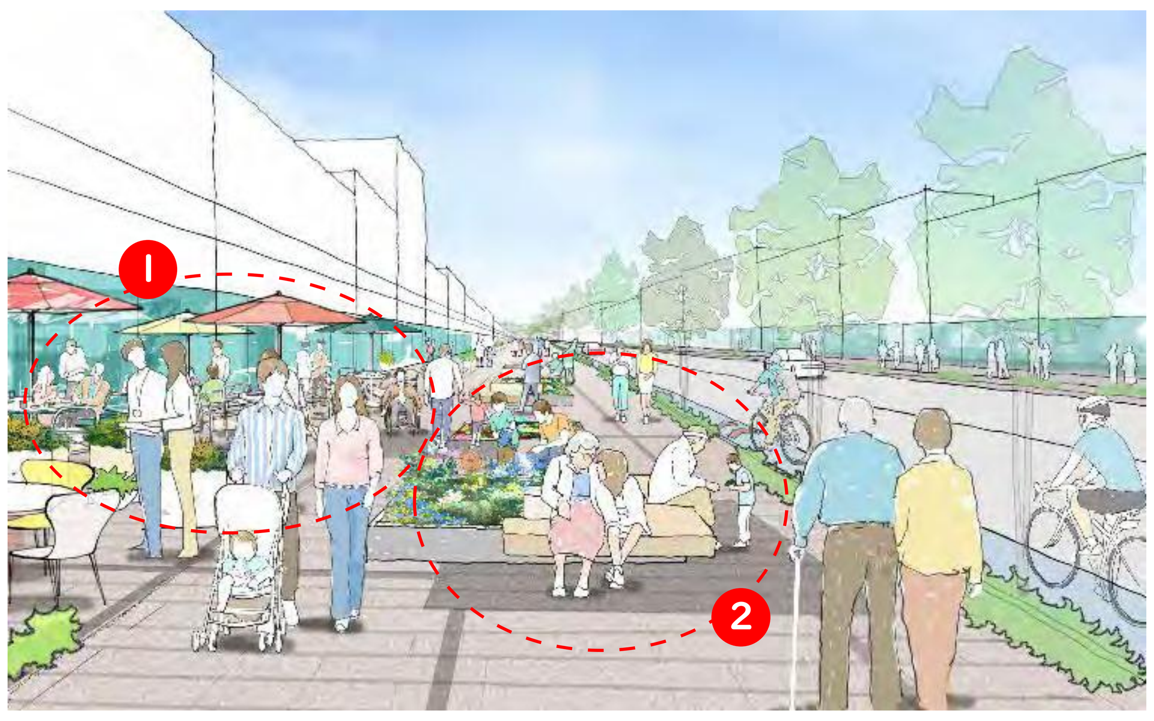
1. 万博記念公園などと連携したサテライトイベントやパブリックビューイング
2. イベントの帰りに帰宅前に少し休憩
3. キッチンカー
4. 移動図書館
5. マルシェ



⑤　居心地が良く歩いて楽しい（全時間帯共通）

沿道建物の低層部にはオープンカフェが設けられ、ゆったりとした歩道には緑やひと休みできるベンチがあったり、駅前と駅周辺の目的地やお気に入りの場所までの通り道が、心地よく素敵な場所に。

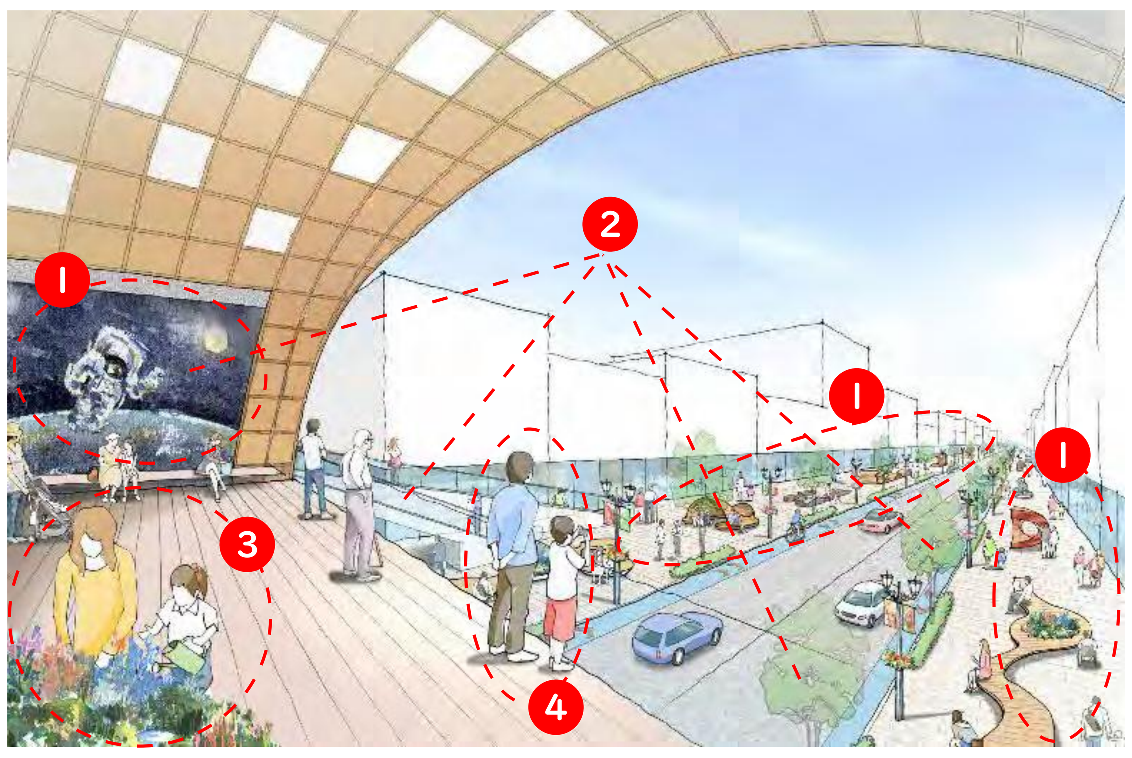
1. 開放的なオープンカフェで心地よく過ごす
2. お気に入りの場所までの通り道で緑のあるゆったりとしたベンチに座ってひと休み



⑥　まちの顔・周辺とのつながり（全時間帯共通）

人々が憩うことのできる茨木の顔となるような駅前空間、駅前が拠点となったアートが感じられるまち、みどりや花を育てて交流や魅力を育んだり、茨木らしいセンスが感じられる、まちの拠点。

1. 日常の中で、アートに触れる
2. スロープや、緑とアートで駅とまちがつながる
3. 花を育てる
4. 大通りを眺める



※イメージ図は現時点でのものであり、今後の検討過程において変更する可能性があります。

最終回では『やってみたいこと』を実現するために、参加者の皆さんにアイデアへの関わり方を発表していただきました！！

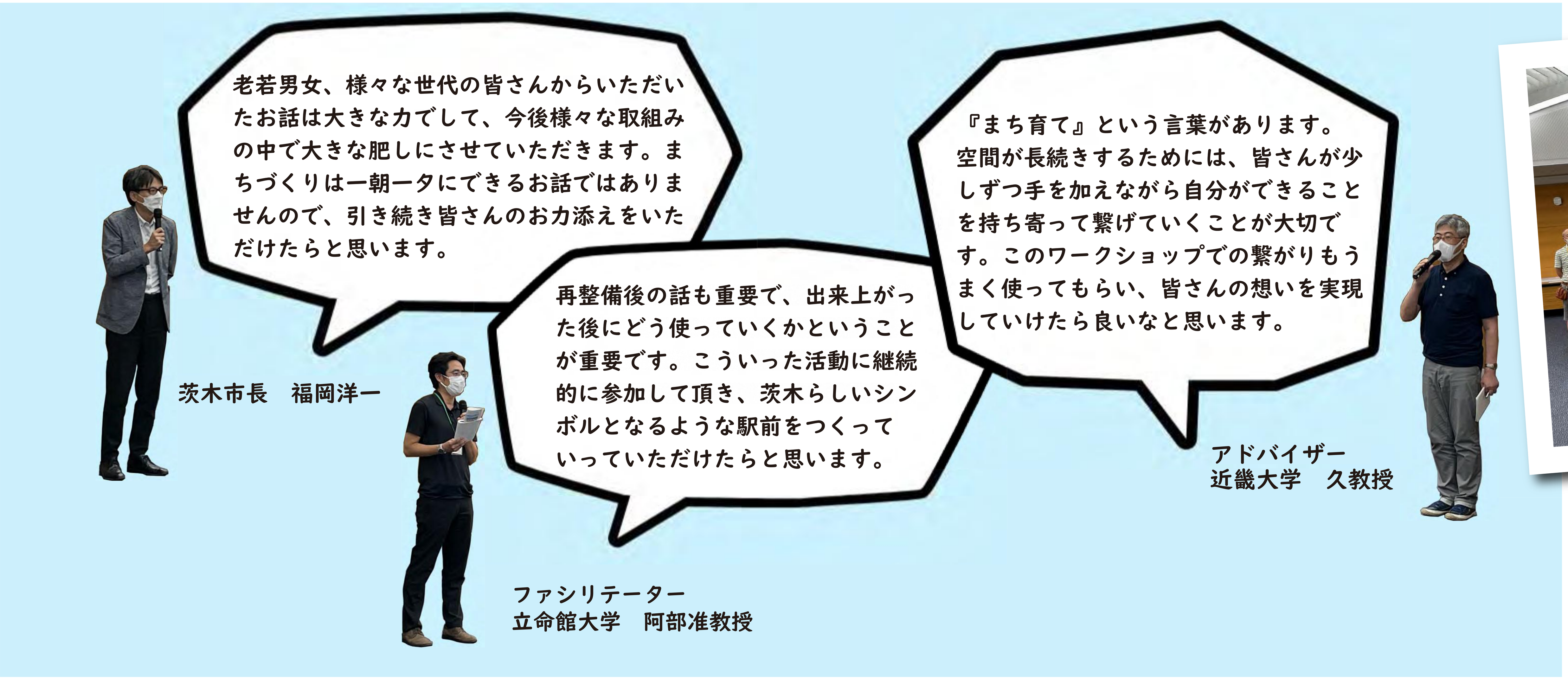
NEXT ☞

05 ワークショップ参加者の声

ワークショップの最終回では、働いている方や学生さんなど、参加者の皆さんから、駅前で『やってみたいこと』について、様々な発表をしていただきました。また、発表では『やってみたいこと』を実現するために、参加者の皆さんができることも考えていただき、そのアイデアへの関わり方も発表していただきました。

06 ワークショップの総評

参加者の皆さんからの発表を受けた福岡市長からのコメントの後、まちづくりの専門家であり、本ワークショップのアドバイザーを務めていただきました近畿大学の久教授、ファシリテーターを務めていただきました立命館大学の阿部准教授より総評をいただきました。



ワークショップ
について
詳しくはコチラ

再整備に向けた今後の取組み

Webアンケートやワークショップ等を通じていただいたご意見やアイデアを参考に、まちづくりの方向性やまちの将来像を実現するための、具体的な取組みをまとめた基本計画素案を作成し、関係団体や有識者等と意見交換を行いながら基本計画案をまとめてまいります。その後パブリックコメント等を実施し、基本計画の策定を行ってまいります。JR茨木駅西口駅前周辺の再整備を実施していくために、多くの方の声を聞き、皆さんと一緒に着実に進めていきたいと考えております。

■問い合わせ先
茨木市都市整備部市街地新生課
電話番号：072−620-1821　FAX：072−620-1730
Mail：shigaichi@city.ibaraki.lg.jp